

平成23年度 評価計画及び自己評価

(計画 **中間** ・最終)

倉橋西中学校区 校番23 学校名 呉市立倉橋西中学校

a 学校教育目標	知性・情操・体力が個性豊かに調和し、創造性に富み、実践力のある生徒を育成する。	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション>(学校の使命) 「ふるさと倉橋」を愛し、ふるさとから愛される学校づくり <ビジョン>(将来の学校像) 小中一貫教育のもと、学力の定着・向上、社会性の育成、ふるさと学習の推進を図る学校
----------	---	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	① 学習への積極的な姿勢が育っておらず、学力が十分定着していない。「書いて話す」活動を授業展開に取り入れるとともに、子どものつまずきの解消と学習への期待や意欲を膨らませる授業づくりのなかで、学力の向上をめざす。 ② 小中一貫教育を推進している。昨年度の研究会の開催を機に「ふるさと学習」のカリキュラム化とそれに基づいて小中学校で実施した。新教育課程の対応、系統性等の視点から「ふるさと学習」改善を図るとともに、各教科等での「言語活動の充実」に向け「書く活動」と「話す活動」を手段とし小中学校で研究する。 ③ 生徒の社会性の育成と自主的活動の活性化が課題である。基本的な生活習慣の定着を図るとともに「ふるさと倉橋」を意識した地域での活動等、生徒の自主的活動を奨励する。
------------------------------	---

評価計画(中期経営目標を設定してから 1 ・ ② ・ 3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	(11)月			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
***	基礎・基本の学力が身に付き、自ら学ぶ姿勢をもつ生徒の育成を図る。	ア 「書いて話す」言語活動の研究	ア 教科指導の中で「書いて話す」活動の恒常的な位置づけ ・学校行事等での「書いて話す」活動の活用	授業での実施度:90% 実施回数:20回	90 20	70 17	78 85	C B			
		イ 子どもの学びのポイントを的確に押さえた授業づくり	イ 子どもの学びに基づく授業の「ねらい」の設定 ・自主学習に向けてのノート活用の定着 ・課題学習等による家庭学習の奨励	教員の満足度:90% ノート等提出率:100% 家庭学習率:100%	90 100 100	90 73 60	100 73 60	A B C			
		ウ ベーシックタイム(BT)の充実	ウ 学習のつまずきの克服と学習への興味づけをふまえた指導事項の選択	生徒の満足度70%	70	79	113	A			
		エ 特別支援教育の充実	エ 特別支援学級の充実 ・特別支援教育の研修	保護者の満足度70% 年間6回開催	70 6	90 6	129 100	A A			
**		① 小中一貫教育の研究実践を推進する。	ア ふるさと学習の改善 イ 交流授業・合同行事の継続実施	ア ふるさと学習カリキュラムの見直し ・地域学習教材の開発 イ 交流授業 ・合同行事の実施	見直し策定:12月まで 開発件数:3件 交流教科:3教科 年間実施回数:4回	12 3 3 4		33 33 50	D D D		
*	生徒指導を充実し、健全な社会性をもつ生徒の育成を図る。	ア 基本的な生活習慣の定着	ア 返事、挨拶、服装、時間、掃除についての粘り強い指導	教員・保護者の満足度90%	90	84	93	B			
		イ 生徒の自主的活動の奨励	イ 地域ボランティア等を含む生徒の自主的活動の活性化 ・学校行事等生徒の発表の場の提供 ・作文等、コンクールへの応募・参加	生徒の満足度80% 生徒一人当たり年間4回の発表 生徒一人当たり年間4回の応募・参加	80 4 4	91 2.6 2.7	114 65 68	A C C			
		ウ 生徒理解のための教育相談の充実	ウ 生徒指導研修、情報交換の実施 ・スクールカウンセラーの活用と教育相談の実施	月1回、年間12回実施 教員の満足度80%	12 80	7 75	58 94	D B			
		エ 生徒の悩み等への支援	エ 体罰、セクハラ相談窓口の機能化	月1回、年間12回実施	12	7	58	D			

【k:評価】
 A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60

平成23年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

倉橋西中学校区 校番 23 学校名 呉市立倉橋西中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	生徒に対する豊かな経営目標が設定されて、頑張っている。しかし、「健全な社会性」や「基本的な生活習慣」という面を向上させるには、指標の設定をもう少し厳しくし、授業中の姿勢や態度、意欲なども指標に加えてみてはどうか。
目標達成のための方策の適切さ	B	「家庭学習の奨励」について、より具体性ある方策を示して欲しい。例えば「家庭学習の奨励」では、具体性を欠いていると思う。 ・生徒をよく見極めた上できめ細やかに適切な方策を組まれていると思います。 ・適切に考えられておられると思いますが、何か一つ「これは」という方策を徹底的にされたらどうでしょうか。 ・西中の学力は、呉市の中でかなり下の方だと聞いています。これは、方策が適切でないからでは。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	・評価並びに分析は適切であると思います。 ・大変細かく分析されていて適切な自己評価です。これは次の改善につながることであり、よい結果を導くことでしょう。 ・いいと思います。
今後の改善策(案)の適切さ	A	・改善策(案)は、適切に考えられていると思います。 ・先生方の生徒に対する熱心な姿勢が生徒へと伝わり、よりよい結果が生じるものと思います。 ・限られた教員数で努力されている姿に頭が下がります。
その他		○定量的な評価だけでは見えてこない定性的な面、あるいは品質の面について、評価できるような工夫はできないでしょうか。 ○昨年末、文連が作成した「倉橋ふるさとかるた」について、2月のちゅうぴー新聞に載せられていた奥本さんの感想文には大変感心しました。中学生達は、私たち大人が思っている以上にしっかりした考えや世を見る眼を持っているのですね。中学生達のその力を信じ、期待したいと思います。 ○体調を崩されずに現状で努力されたらよいのではないのでしょうか。 ○基礎学力をつける目標において、教員が互いの授業や他校の授業を観察するのではなく、無理とは思いますが、学習塾の見学をした方がよいのではないのでしょうか。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>○家庭学習を奨励させるために、全教科において教員が意識統一して、計画的に宿題を出していきます。また、家庭学習(宿題)を提出できない生徒については、強化週間を設けるなどして、やらせきる取組みを実施します。家庭と密に連携し協力を得ながら、基礎・基本の学力の向上につなげていきます。</p> <p>○ドリル学習をどんどん取り入れてベーシックタイムを充実させます。学習のつまずきの克服と学習の興味づけを引き続き行います。</p> <p>○社会性を身につかせるため、生徒指導部からの新たな提案に基づき、今後も基本的な生活習慣について粘り強く指導します。</p> <p>○5校統合にむけて、小中一貫教育の充実、小中連携、中中連携を計画的に実施し、教職員・児童生徒とともに円滑な統合を目指します。</p>
--------------------	--

平成23年度 結果の分析及び今後の改善策

(中間 最終) 吳市立倉橋西中学校区 校番 23 学校名 吳市立倉橋西中学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(1年間) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
***	基礎・基本の学力が身に付き、自ら学ぶ姿勢をもつ生徒の育成を図る。	<p>ア 「書いて話す」言語活動の研究</p> <p>イ 子どもの学びのポイントを的確に押さえた授業づくり</p> <p>ウ ベーシックタイム(BT)の充実</p> <p>エ 特別支援教育の充実</p>	<p>ア 学校行事での「書いて話す」活動は達成度78%であった。これは、授業(教科指導)の中で、活用しようとする意識に教員の差が生じたためである。学校行事での「書いて話す」活動は11月までに17回実施(85%)した。</p> <p>イ 授業の中での「ねらい」の設定は、達成度100%である。ノート等の提出率は73%と低い。家庭学習率は60%と低い。これは、①課題を出そうとする教員とそうでない教員の意識の差、②生徒のやる気の無さ、③家庭の教育への意識の低さ、④提出させきる根気強さ不足が原因と思われる。</p> <p>ウ ベーシックタイムについての生徒の満足度は目標値を超え113%であったが、教員は改善したいと考えている。</p> <p>エ 特別支援教育については、保護者の満足度の達成度は129%。研修も計画的に実施している。</p>	<p>ア 12月までに、教員の意識向上を図る為の研修会を持つこと。そして、授業の中で意識するよう心がけていけるように、お互いの授業観察を行っていく。</p> <p>イ 「ねらい」の提示を引き続き行い、授業の終わりに「振り返り」を行うよう、計画的に授業を展開する。 また、提出したノートの内容が充実したものになるように、模範となるノートの紹介を12月までに紹介する場を各教科が設ける。家庭学習については、提出の悪い生徒の家庭と連携を図り、協力しながら提出率のアップにつなげる。</p> <p>ウ 今後もベーシックタイムの充実に向けて、教務を中心に学年の実態に合わせた内容に改善する。</p> <p>エ 今後も、引き続き研修を実施する。</p>
**	貫 小中一貫教育の研究実践を推進する。	<p>ア ふるさと子どもの改善</p> <p>イ 交流授業・合同行事の継続実施</p>	<p>ア カリキュラムの見直しについては、進んでいない。これは、小中一貫合同での検討の場がもたれていないためである。地域学習教材開発は、現在1つ(道徳)だけである。</p> <p>イ 交流授業は、音楽を年度当初から実施している。他の教科については、今後行う予定である。合同行事の実施については、春の遠足・合同海浜清掃を実施した(50%)。これからの行事として、「ふるさと倉橋歴史講演会」と、「小中合同球技大会」、「入学説明会・部活体験」、「PTA教育講演会」を計画中である。</p>	<p>ア カリキュラムの見直しの進捗状況について、小中一貫推進委員会で検討し、計画を見直していく。地域学習教材の開発も1つでも増やすよう研究する。</p> <p>イ 交流授業については、11月のふれあい参観日に理科を実施し、美術や国語を計画している。小中合同行事については、11月に「ふるさと倉橋歴史講演会」、2月に「入学説明会・部活体験」「小中合同球技大会」を実施する。</p>
*	生徒指導を充実し、健全な社会性をもつ生徒の育成を図る。	<p>ア 基本的な生活習慣の定着</p> <p>イ 生徒の自主的活動の奨励</p> <p>ウ 生徒理解のための教育相談の充実</p> <p>エ 生徒の悩み等への支援</p>	<p>ア 教員は、社会性の育成を目指し、粘り強く指導していて達成度は93%であった。教職員の意識は向上しつつあるが、定着していない。家庭におけるしつけが十分できていない場合や、生徒の社会性に対する意識の低さも原因だと考える。</p> <p>イ 生徒の海浜清掃活動の満足度だけを見ても、114%の達成度である。学校行事等での生徒の発表の場の提供は、年間4回の目標に対し、2.6回の実施と低かったが、文化祭での学年代表による「意見発表」など、とても良い取組ができた。作文・コンクールへの応募・参加も達成度は68%と低い。地域のあいさつ運動の標語作りなどには積極的に応募した。</p> <p>ウ 教育相談については、計画的(定期試験期間中)に実施している。また、スクールカウンセラーの活用と教育相談についても達成度94%である。</p> <p>エ 生徒の悩みへの支援については、生徒指導部からの定期的なアンケートの実施に基づき、面談を実施している。問題等があれば、その都度解決へと導いている。</p>	<p>ア 教員の意識を統一し、小さなことも見逃さないような教職員集団になるよう、生徒指導部を中心に計画を立て、全員が同じように指導していく。また、「返事」「挨拶」「服装」「時間」「掃除」について、生徒会を中心とした取組(呼びかけ・点検)を考えさせ、教職員も引き続き取組む。</p> <p>イ 呉市総合文化行事への参加(プレゼンテーションコンテスト)や、生徒の作文・コンクールへ応募させる。また、朝会を利用した学年・委員会・個人等の発表の場を設ける。</p> <p>ウ 引き続き、教育相談を行う。特に、3年生は入試を控え、不安な時期に入るため、丁寧な対応と指導を行っていく。</p> <p>エ 定期的にアンケートを実施し、今後も速やかに対応していく。</p>